

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：1月第2週目）

- 1 南ア・タリサ社のカロ・プロジェクト、プラチナ価格低下で生産開始がさらに延期
- 2 政府が歳入増のために鉱物採掘への税を増税
- 3 2024年の金の生産量が過去最高を記録
- 4 大規模蓄電施設建設の入札を実施
- 5 モザンビークの暴動がジンバブエの貿易に影響

- 1 南ア・タリサ社のカロ・プロジェクト、プラチナ価格低下で生産開始がさらに延期

ジンバブエのカロ・プラチナ・プロジェクト（Karo Platinum project）の開発業者であるカロ社（Karo Mining Holdings）は、プラチナ族金属（PGM）の価格低迷による資金調達の減速により、2026年後期に採掘開始を予定している。カロ社の親会社である、南アのタリサ・キャピタル社（Tharisa Capital）は、ジンバブエのプロジェクトを2024年に稼働させることを目標としていた。しかし、PGM価格の大幅な下落により、当初は2025年6月に延期されていた。（6日付ヘラルド紙ビジネス1面）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/low-prices-delay-karo-project/>

- 2 政府が歳入増のために鉱物採掘への税を増税

1日に発効した財政法の規定により、国内または海外で販売されるリチウム、黒御影石（black granite）、採石場の石材、未加工およびカット済みダイヤモンドの総価値に2%の課税が行われ、納税者は取引通貨で支払わなければならない。以前に課されていた1%から増額された。この新しい規定は、ジンバブエの鉱物資源から徴収される歳入を増やすための政府の取り組みの一環である。新規定では、ロイヤルティが課されるすべての地下天然資源の権限（authority）は大統領に帰属すると明確に規定されている。また、税務上の登録を受けていない団体の鉱業権の取得または譲渡も禁止する。（7日付ヘラルド紙1面）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/new-minerals-tax-to-boost-revenue/>

- 3 2024年の金の生産量が過去最高を記録

フィデリティ（Fidelity Gold Refineries、ジンバブエの金の独占的買い手）が発表したデータによると、ジンバブエの2024年の金生産量は36,48トンに達し、2023年の30,1トンから21%増加した。政府の年間目標35トンを上回っただけでなく、2022年の35.3トンというこれまでの記録も上回った。小規模採掘業者は23.7トン、大手採掘事業者は12.7トンを生産した。2023年には、フィデリティからの支払いの遅れにより、小規模事業者の業績が影響を受けたが、2024年には、フィデリティが採掘者に迅速に支払いを行ったため状況は改善し、また、年半ばに金販売に対する付加価値税（VAT）が撤廃されたことも生産増加の強力なインセンティブとなった。2024年の金価格の27%

上昇という好ましい市場環境も、金採掘の収益性を高め、採掘業者の事業拡大を促した。(7日付ヘラルド紙ビジネス1面)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-posts-record-gold-production/>

4 大規模蓄電施設建設の入札を実施

電力需要のオフピーク時に発電した電力を蓄電し、ピーク時に送電網に放出する3つの大規模蓄電施設の建設に、いくつかの国際企業が入札した。国営電力会社ZESAホールディングスの子会社であるジンバブエ送電配電会社(ZETDC)によると、蓄電施設の合計容量は1,800メガワット時(MWh)になる。これにより、従来の発電所への依存が減り、民間企業はコストと環境負荷が高いディーゼル発電機の必要性が抑えられる。関係者によると、入札プロセスはすでに国際企業から大きな関心を集めており、その大部分は中国企業だという。(8日付ヘラルド紙ビジネス1面)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-receives-bids-for-electricity-storage-facilities/>

5 モザンビークの暴動がジンバブエの貿易に影響

モザンビークで続く選挙後の暴動が、ベイラ港やマプト港の貿易ルートを含む重要な輸送回廊を混乱させ、ジンバブエを含む南部アフリカ開発共同体(SADC)は地域貿易の大きな混乱に直面している。ハラレとベイラ港を結ぶベイラ回廊は、封鎖や貨物車両への攻撃により、大幅な遅延が発生している。この混乱により、輸送コストの上昇、出荷の遅れ、産業用燃料や原材料などの必需品の不足が生じている。ジンバブエ国鉄(MRZ)によると、NRZはジンバブエからマプトとベイラの両方に、クロム、リチウム、石炭、砂糖、御影石等を輸送しており、マプトからは穀物、燃料、肥料、石炭等を輸送している。国内への肥料の移動が影響を受け、輸入穀物の移動も停滞した。ジンバブエは現在、作付シーズンのピークにある。(8日付ニュースデイ紙1面)

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200036728/zim-reels-from-moza-crisis>